

フリーズ・ミー

石井 隆 監督作品

井上 晴美

鶴見 辰吾
北村 一輝
松岡 俊介

竹中 直人

製作：仁平幸男/豊 忠雄 企画：原田宗一郎
プロデューサー：永江信昭/新津岳人/石井 隆 脚本・監督：石井 隆
撮影：佐々木原保志(J.S.C.) 照明：安河内央之 美術：山崎 輝
音楽：安川午朗 録音：宮本久幸 編集：川島章正 メイキャップ：金森 恵
制作：ファム・ファタル
製作：株式会社ケイエスエス/日活株式会社

KSS  配給：日活株式会社
© 2000 ケイエスエス・日活

あなたを凍らせてあげる…

R-15

私の過去と一緒に

あなたをカラダごと凍らせてあげる

f r e e z e m e

不穏なる一秒一秒の傑作。真夏の夜の肉は狂い、腐り、昇華する。

藤沢 周 (芥川賞作家)

悪いやつほどよく凍る…。氷結した男たちの顔は、なかなかけなげでした。

内田春菊 (漫画家・女優)

日本には少ない良質なブラック・ユーモア・ムーヴィーの登場だ!!

渋谷陽一 (ロッキング・オン編集長)

ブラック・ユーモアとオフビート、石井世界の新境地に酔う。

塩田時敏 (映画評論家)

『GONIN』『死んでもいい』『ヌードの夜』などで絶大な人気を誇る石井隆監督が井上晴美主演で放つサイコ・スリラーの話題作。主人公は東北のある街で、3人組のワルにレイブされた薄幸な女・ちひろ。彼女は悪夢から逃れるため、都会でOL生活を開始。恋人とも結婚間近となり、人生を幸せモドに転じようとした途端、人生は暗転。忌まわしい3人組が次々に彼女の部屋を訪れては、傍若無人に振る舞う。が、ナニかが心の奥ではじけた彼女は、男たちをひとりずつ闇に葬り、冷凍庫の中に死体をコレクションしていく。



フリーズ 冷凍死体との会話

—究極のコミュニケーション

いまどきの「ストーカー現象」を前段にフリながら「癒し」を求めてはいあがろうとするヒロイン像は、いまの世相をなぞるような実感。しかも癒しに到達するまで、いくつかの「血まみれのバイオレンス」が用意されている。死体が増えるたび、冷凍庫が1台、また1台。男どもと一緒に過去が凍結する光景に、ヒロインはうっとり。これは逆襲のヒロインが男をエジキに強く生まれ変わるメタモルフォーゼ(変身)スリラーだ。「綺麗だわ、フリーズするって」と死体に寄り添いクールな言葉を発するヒロインに、幻冬舎のアトローレ文庫のキャンペーンガールに起用され、衝撃的なスキンヘッドでヌードを魅せた井上晴美。今回は映画で初のヌードに挑戦、豊満なバストから筋肉質の脚線まで水泳で鍛えた肢体が存在感を存分に主張する。

デジタル世代でも 堪能できる不思議感

デジタル世代を意識したスピーディな映像タッチもお楽しみ。バスタブで全裸で格闘する殺人シーンなど「サイコ」を思わすヒッチコック風の映像で、「密室」の緊張感をより強調する演出が実にスリリング。随所に監督の仕掛けた恐怖の罠が待っている。特に3人の死体が「冷凍庫」でフリーズされていくブラックなアイデアは、映画全体の「密室感」を増し、2000年初頭に京都、新潟と続いた現実の猟奇事件の「ひきこもり」をも、先取りしたような不思議感だ。共演は『皆月』でキネマ旬報新人男優賞を受賞した期待の北村一輝、『GONIN』などの鶴見辰吾。そして、画面を占領する図太いやクサに『ヌードの夜』などに出演している個性派・竹中直人。彼らの怪演が、また作品を更に盛り上げている!

2000年/ヴィスタサイズ/カラー/101分

日活ホームページ <http://www.nikkatsu.com>

7月15日(土)よりロードショー

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中!

(当日一般¥1,800のところ)

劇場窓口及びチケットぴあ、ローソンチケット、各プレイガイドにてお求め下さい。

劇場窓口でお買い求めの方に限り、特製ポストカードプレゼント!

御堂筋沿い 東映会館南となり
シネマアルゴ梅田
06-6343-1691
<http://www.nikkatsu.com>

上映時間は劇場にお問い合わせください。

8/5土～11金 ロードショー!!

京都みなみ会館

九条大宮・近鉄東寺駅西へ150m 075-661-3993

<http://www.rcsmovie.co.jp/minami/>

8/5土～7月朝11:50～1回 8:00～11:00夜8:55～1回上映